

# ふくしまの 「家庭学習スタンダード」

**R**esearch

自分を知る



**A**ction

見直す

授業は先生や友達と力を合わせて……  
家庭学習は自分の力で……  
だから育てたい!

**P**lan

計画する

## 自己マネジメント力

現代の子どもたちは、テレビやゲーム、スマホなど、誘惑が多い環境の中で、家庭学習(宿題+自主学習)に取り組んでいくことになります。だからこそ、「R-PDCAサイクルを通して、自分で学習や生活を改善する力」、つまり、「自己マネジメント力」が必要になるのです。

**C**heck

確かめる

**D.**

自ら学習する

変化の激しい時代にあって、子どもたちが、豊かな人生を切り拓き、よりよい社会の創り手として成長していくことは、私たち大人の共通の願いです。そのような子どもたちの未来像を描くとき、学校での学習はもちろんのこと、家庭での学習を充実させていくことがとても大切になります。

本リーフレット「ふくしまの『家庭学習スタンダード』」は、子どもたちに、家庭学習を通して「自己マネジメント力」を育みたいという願いを含め、作成しました。本リーフレットを仲立ちにして、学校、家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、子どもたちの家庭学習を充実させていきましょう。



実施状況を記録できる「計画  
備する。  
のコメントを書くよう促す。  
など

- これまでの学習を振り返り、成果と課題を明らかにする機会を設ける。
- 成果を上げた取組を確認したり、課題を分析したりするよう促す。 など

- 改善のための目標を明確にする機会を設ける。
- 新たな目標を基にした計画を確認し、励ます。 など



## 自ら学習する

主体的に学習する。

## Check 確かめる

学習の結果や取組を振り返り、確かめる。

## Action 見直す

学習の内容・方法を見直し、修正する。

計画実施表に、「文章問題が思った以上にできた」と書こう。

部活動で疲れたけれど、頑張って学習するぞ。

学習内容が難しくなってきた。○○分では終わらない日が多かったな。

説明文を書くとき、内容が分かるようになるな。

毎日、文章問題に取り組んでみたら、テストでもできるようになってきたぞ。

やっぱり夕食前に少しでも学習すると、気持ちに余裕が出るな。

自主学習の時間を、平日は○○分、休日は○○分増やしてみよう。

もっと難しい問題にも挑戦してみよう。

これからも続けていこう。

夕食前に、読書をするのもよいか。

# 育む家庭・地域の関わり

## 習慣づくり

□曜日は家族みんなで読書を楽しみましょう。

□□検定に挑戦してみたらどうか。

は、集中力を高め成果もあると聞いたことがあるな……。

すぐに学習を始められたね。

計画では、1日○○分だったよね。

目標を貼っておくと、やる気が出るわよ。

今度のテストに向けて、どのような目標を立てるの？

夕食は、○時を目安に食べましょう。

ゲーム、スマホは○時までね。

私も早寝・早起きを心がけないと……。

子どもとルールを決めることが大切ね……。

## お子さんと一緒に家庭学習を振り返ってみませんか？

- 学習する場所を整理している。
- 正しい姿勢で学習している。
- 目標をもって学習している。
- 計画を立てて学習している。
- 学習する時間帯を決めている。
- 集中して学習している。
- 宿題以外の学習もしている。
- 苦手な教科も学習している。
- 様々な分野の本を読んでいる。

学習できる環境  
でも相談できる  
に知らせる。  
。 など

- お子さんに、やらなければならないことやしてほしいことなどを気付かせる。
- 「起床時刻」、「就寝時刻」、「学習を始める時刻」を決めさせる。
- 家族みんなで規則正しい生活を心がける。 など

# 家庭学習を充実させるための家庭・地域の3つの視点

福島県教育委員会教育長からのメッセージ

## お手伝い。 体験、実感、感謝の心。

子どもに家事を手伝わせることは、勤勉性を育み自立を促すとともに、自己肯定感や感謝の気持ち、コミュニケーション能力を養うことにもつながります。年齢に応じて、積極的にお手伝いをさせましょう。



視点

1

## 心の支え

- コミュニケーションを大切にし、お子さんの言葉に耳を傾け、心に寄り添ってよき話し相手になりましょう。
- 自信をなくしたり、学習成果に不安を感じたりしているときには、安心感を与えてあげましょう。

福島県PTA連合会長からのメッセージ

## 今こそ必要、大人の背中

昔から「子どもは親の背中を見て育つ」と言います。大人の背中には、子どもたちに明るい未来を指し示す発信力があるのだと思います。子どもたちが誇りをもち、夢をもち、将来に希望と自信のもてる教育環境をつくりながら、今後も子どもたちのためにどうあるべきかを、大人の背中と考えてまいりましょう。



視点

2

## 環境づくり

- 学習する場所を整理し、集中できる環境をつくりましょう。
- 家族と一緒に読書をする機会を設けましょう。
- 図書館・公民館などの利用や体験活動を促しましょう。
- 地域行事に積極的に参加させましょう。

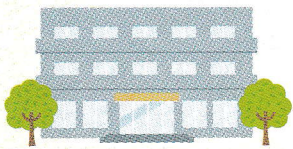


視点

3

## 習慣づくり

- 早寝・早起きやお手伝いの習慣を身に付けさせましょう。
- 朝ごはんは、必ず「毎日」、できるだけ「みんなで」食べましょう。
- テレビやゲーム、スマホなどをするときのルールを決めましょう。



# 家庭学習を充実させるための学校の4つの取組

取組 1

## 共通理解を図り指導します。

- 学年に応じた「家庭学習の手引き」などを作成するとともに、全教員が共通理解を図って指導していきます。
- 宿題の内容や量について、教員間で話し合い、調整していきます。

取組 2

## 授業と家庭学習をつなげます。

- 学習内容に応じて、宿題(復習、予習)を効果的に活用した授業に努めていきます。
- 授業で学習したことを活用できる場面や方法を紹介していきます。

取組 3

## 内容・方法を指導します。

- 学習内容や方法、時間、ノートを使い方などを示した手引きなどを継続的に活用し、学習の仕方を指導していきます。
- 「調べ、考え、書く」を中心とした活用型の宿題にも取り組ませています。

取組 4

## 協力・連携体制を築きます。

- 地区の小学校同士や小中学校間で、家庭学習の内容や方法などについて共通理解を図り、取り組んでいきます。
- お子さんや保護者の、家庭学習に関する悩みや要望を把握し、相談する機会を設けていきます。